

平成30(2018)年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業 地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名 高島市国際協会 (都道府県:滋賀県)

1. 当該地域の情報 (2019年 1 月現在)

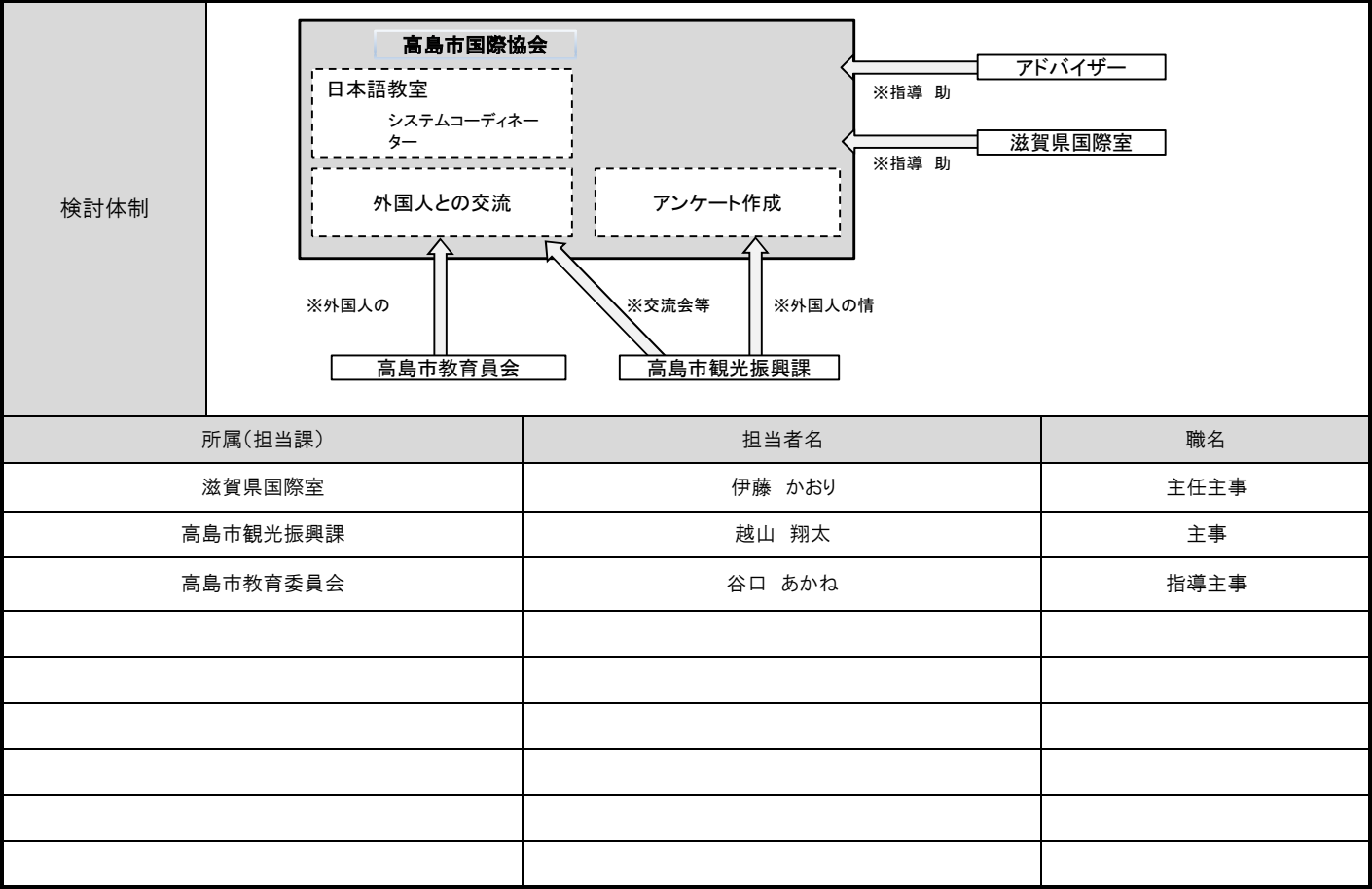
地域の課題	高島市は平成17年に6か町村が合併してできた市である。市内に大きな企業は少ない。マキノ町にはブラジル人を雇用している会社があり、居住地としては今津町・マキノ町である。日本人との交流はほとんどない。近年、ブラジル人の子弟が就学するようになり学校との意思疎通がうまくできないケースがみられる。ベトナム人は今年度当初は研修生、エンジニアの単身赴任のみであったが、エンジニアの配偶者が来日し、女性が急増した。地域社会との交流はない。このような現状から「生活者としての日本語教室」を開設することにより、地域での多文化共生を推進する必要性に迫られている。
在住外国人数 外国人比率	高島市人口 48,963人 外国人人口 545人 比率 1,11%
在留外国人の 状況	【主な国籍と人数】1,韓国186 2,ブラジル109 3,ベトナム90 4,中国61 5,フィリピン24 6,インドネシア17 7,米国7 8,ミャンマー11 9, 朝鮮8 10,フランス5 【在留資格】不明/高島市役所:在住外国人の人権の尊重(高島市では特別永住者の方が特に人数や自身の情報を公表されることを気にされる)の観点から情報の提供は難しい。 【滞在年数・在留期間などの状況】不明
在住外国人の 日本語教育の現状	高島市において、日本語教育団体は高島市国際協会だけである。協会の日本語教育は会員の個人による指導で、協会としては日本語教室は設置されていない。その個人によるものは初級後期以降のJPLT対策である。近年、在住外国人の日本語習得の低さに起因するトラブルを耳にするようになってきたが、当市では、「生活者としての外国人」のための日本語教室が設置されていない。

2. 事業の内容

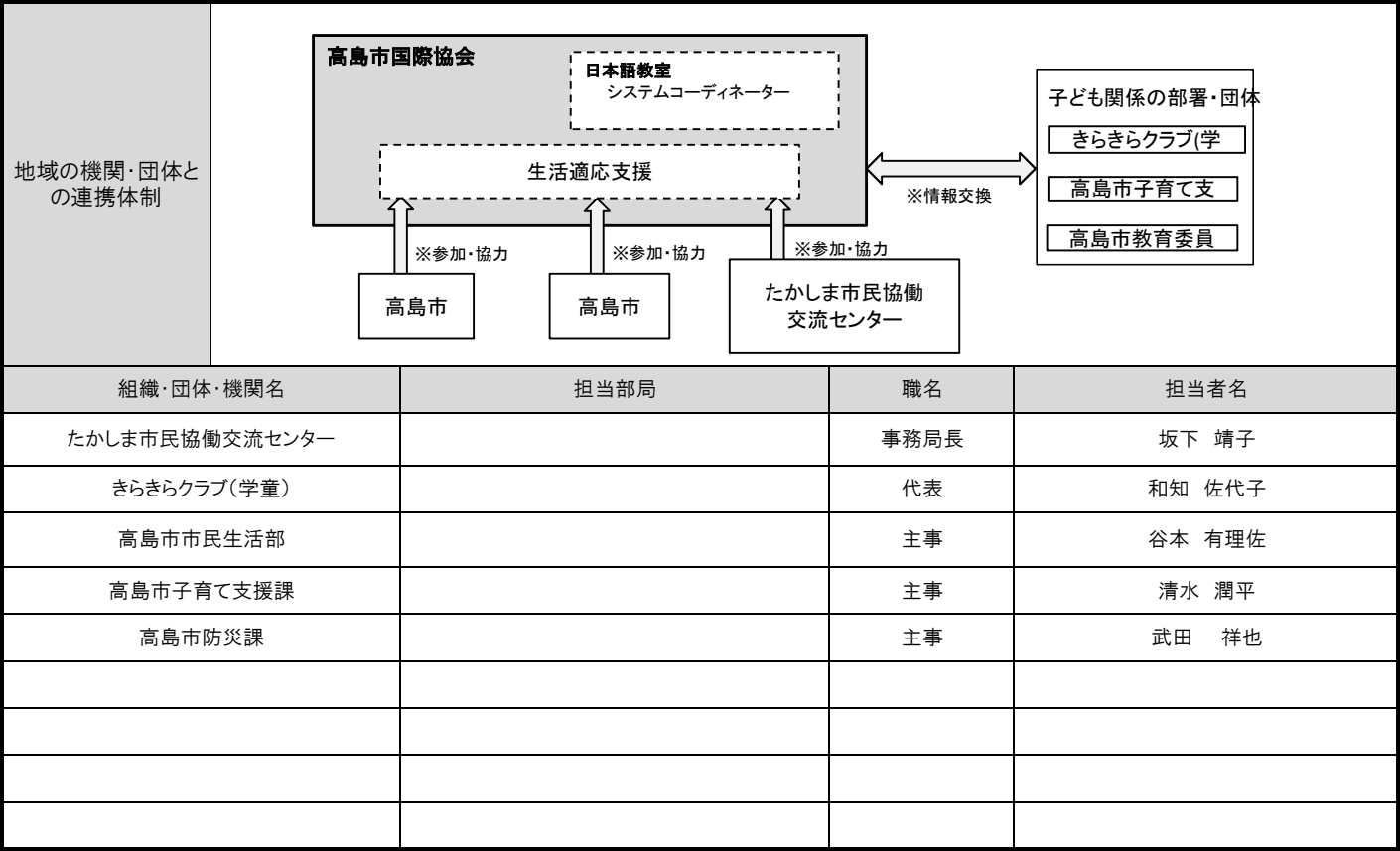
本プログラム取組年数	1年目			
事業の目的	地域に暮らす外国人住民が、日本人住民との交流を通じて、日本での生活を円滑に行うために必要な日本語の習得とコミュニケーション能力の向上を図りながら、高島市で暮らすために必要な生活情報等を習得する場を設ける。そのために本市における外国人の日本語の現状をアンケートにより調査する。その結果をもとに、本年度から日本語教室の本格的実施体制を構築する。			
事業の概要	事業の概要 ①アンケート(2018年12月までに集約分析)高島市の日本語学習希望者および日本語習得の現状の把握。 ②アンケートに基づいて、次年度から本格的実施に向けて具体的な計画の立案。 ③月1回 市内小中学校への外国人の訪問(2018年度4校予定)或いは交流会 ④やさしい日本語教室の試行(10月下旬より実施、最低月2回) ⑤サポーター養成(10月より月1回、コーディネーターによるアドバイスは随時対応)			
事業の対象期間	2018年 4月～2019年3月			
前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)				
担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	川崎 功	高島市国際協会	会長	渉外、総務
	白神 睦子	〃	副会長	総括コーディネーター
	横井 初子	〃	理事	日本語サポート養成計画、プログラム作成
	橋本 敦子	〃	事務	連絡、調整、文書作成
担当アドバイザー	橋本 好司	今津東コミュニティセンター	総括	渉外、文書作成
	氏名	所属	職名	担当する役割
	井上 洋	ダイバーシティ研究所	参与	継続・新規(1 年目)
	中東 靖恵	岡山大学	准教授	継続・新規(1 年目)
	幕田 順子	福島県国際交流協会	主任主査	継続・新規(1 年目)

3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

(1)地域における日本語教育の実施に向けた検討体制



(2)日本語教室の実施に向けた事業運営体制図



4. 具体的な取組内容

(1) 年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
2018年 4月			
2018年 5月			
2018年 6月	6/14「生活者としての外国人」「空白地域解消推進協議会」研修 6/21事業計画書協議	事業計画	
2018年 ★7月	7/6アンケートについて協議 7/10事業について関係団体に協力依頼 7/12事業計画書作成協議 ★7/19井上洋シニアアドバイザー来訪	関係団体協力依頼	★今年度計画について助言
2018年 8月	8/1,2,8イングリッシュイマージョンデイキャンプ(外国人と市内小学生との交流会) 参加に向けて打ち合わせ及び参加 8/21世界の台所(料理を通じて外国人と交流)打ち合わせ	外国人と高島市民との交流を計画	
2018年 9月	9/14世界の台所打ち合わせ 9/15コーディネーター会議 9/21世界の台所運営	やさしい日本語教室開始について具体的な計画	
2018年 10月	10/9コーディネーター会議 10/25ベトナム人勤務の会社訪問、日本語教室協力依頼 10/26ブラジル人勤務の会社訪問、日本語教室協力依頼	やさしい日本語教室の開催。	
2018年 11月	11/5たかしま市民交流フェスタの打ち合わせ、ボランティアへの指示 11/7先進地視察(浜松市) 11/13ブラジル人家庭の訪問、日本語教室の誘い 11/15ブラジル人子弟の保育について高島市役所健康推進課と協議 11/27小学校 個別ケース検討会議出席	・やさしい日本語教室に参加するボランティアと打ち合わせ。 ・やさしい日本語教室の開催。 ・先進地を視察。 ・ブラジル人子弟の保育、小学校に関する会議出席、家庭訪問	
2018年 ★12月	12/1やさしい日本語教室打ち合わせ ★12/12井上洋、幕田順子、中東靖恵アドバイザー来訪 12/10世界の台所打ち合わせ 12/15やさしい日本語教室打ち合わせ	・アドバイザー来訪、助言指導を仰いだ。 ・やさしい日本語教の開催、教材の作成。	★活動計画、活動実績について報告とそれに対する助言指導
2019年 1月	1/12やさしい日本語打ち合わせ 1/19やさしい日本語打ち合わせ 1/26やさしい日本語打ち合わせ	やさしい日本語教の開催、教材の作成。	
2019年 2月	2/9やさしい日本語打ち合わせ 2/16やさしい日本語打ち合わせ 2/20やさしい日本語の打ち合わせ	やさしい日本語教の開催、教材の作成。	
2019年 3月	3/2やさしい日本語打ち合わせ	やさしい日本語教の開催、教材の作成。	

(2)立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称		やさしい日本語教室					
外国人参加者について		[国籍]ブラジル7名、ベトナム6名 [属性]日系ブラジル人の配偶者、ベトナム人エンジニアの配偶者			参加者数 (内 外国人数)		受講者13名 支援者7名 (日本語指導者3名、サポーター4名)
開催時間数		総時間 31 時間			内訳 2 時間 × 11 回 4 時間 × 2 回 5 時間 × 1 回		
目標		・母語しか話せない在住外国人に生活上必要なやさしい日本語による会話の習得 ・日常生活をもとにした日本の文化・伝統にふれる。					
実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2018年10月13日(土) 14:00～16:00	2	今津東コミュニティセンター	4	レベルチェック	・語彙調査	日本語指導者1名
2	2018年10月20日(土) 13:30～15:30	2	今津東コミュニティセンター	4	あいさつ	(越)あいさつ、自己紹介 参加者全員と交代して実施し、より多くの人と対応できるようにした。(写真参考)	日本語指導者3名 サポーター3名
3	2018年10月27日(土) 13:30～15:30	2	今津東コミュニティセンター	5	病院へ行こう	参加者の居住地近くの病院を画像で紹介。 多言語問診票を活用し病名を理解し体の部位の名前を覚えた。	日本語指導者3名 サポーター3名
4	2018年11月17日(土) 10:00～12:00 14:00～16:00	4	今津東コミュニティセンター	11	AM(伯)あいさつ PM(越)火事、救急車	(伯)あいさつ、基本の言葉、自己紹介、小学生向きに万華鏡づくり (越)高島市の119番応答内容に則して練習。(写真参考)	日本語指導者3名 サポーター4名
5	2018年11月24日(土) 14:00～16:00	2	今津東コミュニティセンター	6	AM(越)買い物	電気屋の広告チラシを読む。値段の比較。	日本語指導者3名 サポーター1名
6	2018年12月1日(土) 10:00～12:00 14:00～16:00	4	今津東コミュニティセンター	10	AM(伯)自己紹介 PM(越)日本の料理	(伯)何が好きですか。甘い、辛い、塩辛いなど味覚を表す言葉 (越)料理を通して、材料の名前、調理器具の名前、簡単な調理方法の語彙を学んだ。	日本語指導者3名 サポーター1名
7	2018年12月8日(土) 10:00～12:00	2	今津東コミュニティセンター	1	基本の会話	〇〇はにほんごで(ポルトガル語で)なんといいますか。ほか	日本語指導者1名
8	2018年12月15日(土) 10:00～12:00	2	今津東コミュニティセンター	9	色々な食べ物屋	日本のファーストフードでの注文。 日本の子供たちも交えてベトナムのデザートチエを作りみんなでいただいた。	日本語指導者3名
9	2019年1月12日(土) 10:00～15:00	5	今津東コミュニティセンター	13	日本のお正月	ベトナム、ブラジルのお正月についての話したり聞いたりした 「。簡単なレシピ(お雑煮)を理解。そして作って食べた。(写真参考)犬橋かるた遊びをした。	日本語指導者3名 サポーター1名
10	2019年1月19日(土) 10:00～12:00	2	今津東コミュニティセンター	11	日本の成人式	成人って？カレンダーを見て数字の読み方を理解。 成人式の着物を見て、きれいですね、高いですかなど形容詞を覚えた。	日本語指導者3名 サポーター1名
11	2019年1月26日(土) 10:00～12:00	2	今津東コミュニティセンター	8	絵本を読む	はらぺこあおむし を読んで、はらぺこあおむしの語彙を使ってビンゴゲーム	日本語指導者3名
12	2019年2月9日(土) 10:00～12:00	2	今津東コミュニティセンター	3	買い物	店の人と会話が出来るよう練習。 自分の欲しいものが言えるように模擬体験で言ってみた。大きい、小さい、色の言い方、洋服の言い方(コート、ジャケット、セーターなど)	日本語指導者2名 サポーター1名
13	2019年2月16日(土) 10:00～12:00	2	今津東コミュニティセンター	5	地図 道を探す、教える	行きたい場所への行き方を地図を見て、説明してみた。 自分のいる場所(住んでいるところ)への行き方を説明してみた。	日本語指導者2名
14	2019年3月2日(土) 10:00～12:00	2	今津東コミュニティセンター	9	おひな祭り	日本のおひな祭りを知り、自分の国の祭りを紹介した。 おひな様の折り紙をして、まつわる日本語を覚えた。	日本語指導者1名 サポーター2名

【主な活動】



2018/10/20
日本語で自己紹介、挨拶をしてみる。



2018/11/17
緊急時対応、119番の掛け方を学ぶ。



2019/1/12
日本のお正月 お雑煮を味わう。

(3)その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
世界の台所	(1)2018年 9月21日 (2)2018年12月15日 (3)2019年 1月15日	(1)高島市内工場勤務ベトナム人エンジニア3名、高島市民19人参加。 ベトナム料理をベトナム人に作り方を教えてもらいながら全員で調理に取り組んだ。 ベトナム人が全員の前で自国の紹介をした。(写真参考) (2)高島市内に9月来日の女性4名を含むベトナム人6名、高島市民15人(うち小学生5名)。小学生を中心としてベトナムスイーツを作った。(写真参考) (3)フランス人女性1名、高島市民20人参加 (1)(2)(3)ともに一緒に料理を作ることにより打ち解け合い、それぞれの母国の食文化生活の様子を交流することができた。
たかしま市民活動フェスタ	2018年11月10日	この催しは高島市内のボランティア団体が団体同士の交流、市民との交流を図ろうというもの。 全参加人数400人、ベトナム人参加10人 当協会は「ベトナムを知ろう」と題し、市内のベトナム人と高島市民との交流ができる機会を作った。(写真参考) 日本人の一般参加者に高島市の外国人の母国であるベトナムを紹介した。
在住外国人による出前講座	2019年2月14日 2校 2019年2月15日 2校	高島市内4校の6年生を対象として、高島市内で働くインドネシア人技能実習生が、日本語で講義をした。 技能実習生に日本の小学校・小学生とふれあうことにより、見聞を広めた。小学生には多文化共生の態度を培った。

【主な活動】



2018/9/21
世界の台所 ベトナム料理をしながら会話が弾む。



2018/12/15
世界の台所 子どもを交えスイーツづくり。



2018/11/10
たかしま市民フェスタ 笑顔で模擬店の手伝い。

5. 今年度事業全体について

進捗状況	概ね予定どおり進めることができた。
成果	市内在住外国人にアンケート調査を実施（ベトナム人30名中回答者28名、ブラジル人80命中回答者9名 回収率33.6%） 市内小中学校との交流会 やさしい日本語の試行（10月～ベトナム人4,5名、11月～ブラジル人4,5名） 先進地研修（浜松市多文化共生センター、学習支援センター） 市民フェスタでの市民との交流（ベトナム紹介、屋台出店）
地域の関係者との連携による効果	市行政・市教育委員会との連携を密にした結果、在住外国人の未就学児への的確な支援をすることができ「やさしい日本語」教室に母子とも参加することができた。
コーディネーターの主な活動	①ニーズの調査(10H) ②体制整備のための調整(24H) ③人材育成のための調整(15H) ④日本語教室開設及び運営のための調整(50H) ⑤教材作成に向けた調整(30H) ⑥その他(4H) (具体的な内容:ブラジル人家庭の訪問、小学校入学個別ケース会議出席)
アドバイザーの主な助言	・本教室の生活に根ざしたテーマはこれでよい。 ・ボランティアを日本人と限らず、在住外国人を活用しているのもよい視点である。 ・多文化共生の面から考えると、ブラジル人、ベトナム人学習者のグループを分ける必要がない。
今後の課題	高島市の学校や教育委員会、市の担当課との連携は少しずつとれてきたが、まだ地域住民が高島市に生活している外国人の存在を認識し、多文化共生社会に対する意識を持っているとはいえない。今後は地域住民と外国人の相互理解を深めるための活動の機会を多く作り、ボランティア、サポーターの確保、育成が必要である。
今後の予定	主な取り組みとしては ・日本語教育カリキュラム案作成 ・地域住民に対する周知・広報・意識啓発 ・地域関係機関との連携(交流会)

本件担当 : 高島市国際協会